

甘えと対処

堂本 学

内容

甘えと対処.....	1
不登校になるのは甘え？「混合型（甘え依存型タイプ）」の対処法登校したくない人が読む.....	4
中学生の不登校に最適な通信教育はある？登校したくない人が読むページ.....	5
学校は何のためにあるのかを具体的に解説！学校は別に行かなくても良い！登校したくない人が読むページ.....	7
著者：つかさ.....	10

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

不登校になるのは甘え？「混合型（甘え依存型タイプ）」の対処法登校したくない人が読む
不登校は甘えや怠けだという意見がありますが、実際にそうだと思う人もいれば、そうではないと思う人もいます。実際に、不登校というのは甘えなのでしょう。

本記事では、不登校は甘えなのかや、不登校は直らないのかなどをお伝えしていきます。
混合型（甘え依存型タイプ）」とは？親や学校はどう対処すればいい？不登校になった子供には話をしやすい環境が一番！

まとめ「混合型（甘え依存型タイプ）」とは？不登校には、「混合型（甘え依存型タイプ）」というものがあります。特徴は、学校でクラスメイトや先生と、何らかのトラブルが原因で不登校になることがあるということです。

また、年齢に比べて精神的に幼いということもあり、我慢をする気持ちや将来についての自立意識が、十分育っていない傾向にあります。難しいことや自分の都合の悪いことから回避的な傾向が強く、何かを最後までやり遂げたという経験が無いのが大きな特徴となります。基本的な生活習慣が十分に身に付いていないので、生活リズムに乱れがあるのです。親や学校はどう対処すればいい？子供が不登校になると強く励ましたくなりますし、時には厳しく指導したいという気持ちになるかもしれません。

そもそも、不登校というのは自分ではどうにもできない事態に陥り、疲れ果てている状態なのです。不登校になった当初は本人も混乱していることが多く、心身のエネルギーが低下していることもあります。なので、エネルギーが回復する前に励ましを受けても、心の負担にしかならないことが多いです。

確かに、親の立場を考えると、子供の将来にどういう影響をもたらすのかが心配になるでしょう。とくに、高校生になってからの不登校は、不登校のデメリットを本人も十分理解しているのです。また、自我が確立されつつあるので、親の一方的なアドバイスや厳しい指導を受けると、「誰も分かってくれない」という感情が発生します。そうすると、問題が余計にこじれる可能性もありますし、辞退がさらにひどくなる可能性も考えられます。

親も辛いかもしれませんが、不登校に追い込まれた子供が誰よりもつらい思いをしていることが多いです。不登校になった子供の対処については、友達や兄弟と比べたり世間体を持ち出すことはやめておきましょう。不登校になった子供には話をしやすい環境が一番！子供が不登校になると、その原因を問いただしたくなるかもしれません。

しかし、子供にいくら不登校になった理由を聞いたとしても、話してはくれないでしょう。それどころか、逆に学校に行きたくない理由を、話さなくなる可能性が高くなります。無責任だと思ってしまうかもしれませんが、子供が話し出すまで待つことが最良の方法だと言えるのです。

つまり、不登校になった子供に、「味方認定」を貰わなければ、いくら子供のために理由を聞こうとしても、無駄な努力に終わるでしょう。不登校になる子供の心は繊細でデリケートなので、ちょっとしたことでダメージを受けてしまう状態です。

子供のためにと行って行おうとする親の行動が、子供の目には「親自身のため」という風に映る可能性があります。そもそも、親子関係というのは長い時間築き上げていくものであり、普段から「私はあなたの見方だよ」というメッセージを、伝え続けることが大切だと筆者は思うのです。まとめ不登校は甘えでも、怠けでもありません。

子供が不登校になった場合は、親が「甘えではない」という認識を持てるかどうかによって、子供の引きこもりが酷くなるか回復するかの分かれ道となっています。

不登校の親にできることは、現在のありのままを受け入れて共感し支えてあげることでしょう。子供が立ち直るきっかけをつかめるまで、本人が求める形で気長に働きかける必要があると言えます。家庭のみで解決しようとする、必ず状況が悪化します。

なので、悪化させないためにも第三者のサポートを、求めるという姿勢も必要だと言えるでしょう。学校や児童相談所と連携しながら、フリースクールや通信教育などを積極的に利用してみたいかがでしょうか。

中学生の不登校に最適な通信教育はある？登校したくない人が読むページ

不登校の中学生の子供に対して、勉強の遅れが心配だと思う親御さんは多いでしょう。

しかし、学校に無理やり行かせるのは、状態が悪化する可能性があるのでやめたほうが良いです。ただ、学校に行かなくても勉強はできますので、自宅で出来る勉強を行うと良いでしょう。

中学生の不登校に最適な通信教育はある？教科書と市販の教材で勉強をする通信講座家庭教師教育支援センターフリースクール学校に行かなくても勉強は可能？不登校の子供に最適な勉強方法は一人一人違う！

まとめ

中学生の不登校に最適な通信教育はある？通信講座は不登校の中学生にお勧めな方法ですが、通信教育と言っても色々な形態があります。

また自宅で学習をするという場合は、以下の方法が考えられます。・教科書と市販の教材で勉強をする・数新講座・オンライン教材・家庭教師・教育支援センター・フリースクールそれでは、一つ一つ紹介をしていきましょう。教科書と市販の教材で勉強をする自宅で勉強する方法については、「教科書と市販の教材で勉強をする」という方法が挙げられます。勉強ができないわけではないけど、不登校になっているというなら教科書と市販の教材を使い、自宅で学習をすることができるでしょう。

また、家族の人がサポートについて、勉強を見てあげるという方法もあります。教科書と市販の教材を使って勉強をするという方法は、経済的な負担も少ないのが特徴です。学校にあまり通えないという状況の場合は、1人で学習をするというのも難しくなってきます。そういう場合は、オンラインで見ることができる、動画授業なども併用してみると良いでしょう。通信講座通信講座は毎月届く教材を使って、学習をしていきます。苦手な部分などを分析し

て、過去に習ったような内容をもう一度学習することで、基礎を理解することができるでしょう。実は自宅で学習をしている時点で、不登校扱いにはなりません。

学校と連携していれば、出席扱いになるというケースもあります。タブレット学習なども通信講座ではありますが、ゲーム感覚で問題を進められるので、テキストでの学習がむづかしいという子供の場合には、最適な自宅学習方法だと言えるでしょう。

家庭教師不登校の中学生にとって、学校の人に出会えるのを極端に嫌がります。学校に行かないという罪悪感もあるでしょう。家庭教師の場合は外に出なくても良いので、安心して学習に取り組むことができます。分からない部分は、しっかりと聞くことができるのもメリットと言えます。

筆者も経験がありますが、相性が悪いと学習をしているときも、静まり返った雰囲気になります。そうすると、教えるほうも教えずらにですし、質問をするほうもやりにくくなるのです。そういう場合は、教える側が積極的にならないと、生徒から質問待ちをしているだけでは給料ドロボーになってしまいますよ。

筆者が中学生のころに家庭教師の人に勉強を見てもらっていましたが、本当に家庭教師は学習をしている姿を見ていただけでした。家庭教師は生徒の性格を親御さんから聞いて、やり方を生徒によって変えなければいけません。

分からないことを質問できる子供ばかりじゃないので、家庭教師が「質問待ち」をしているというのはちょっとおかしいと思いますね。実際は「質問待ち」をしている家庭教師のほうが多いので、人見知りをする子供の場合は、家庭教師に見てもらうのは厳しいかもしれません。教育支援センター教育支援センターは市町村の教育委員会が設置している、不登校の子供を対象にした学習支援と学校復帰支援の場です。教育支援センターは一定の条件を満たしていると、出席扱いになります。

在籍している学校を通したり、在籍している学校に相談してから、地域の適応指導教室に連絡をして、見学や入室相談をします。教育支援センターでの学習については、集団が基本となります。条件がそろえば無料で利用ができるのですが、各自治体によって対応が違います。誰でも入室ができるわけではないので、入室相談をしたときに判断されるのです。

ただ、教育支援センターは学校に復帰させるのが目的なので、学校に行きたくないという気持ち強い子供には合わないでしょう。フリースクールフリースクールは不登校の子供を受け入れています。

スクールによっては勉強に力を入れたりコミュニケーションや、他の活動に力を入れている場合もあります。指導方針や形態はさまざま、子供が通いやすいフリースクールを選ぶと良いでしょう。フリースクールの費用は、各スクールによって違います。

学校に行かなくても勉強は可能？正しく結論を言えば、学校に行かなくても「授業に関する学習」は可能です。筆者が考える「勉強」とは、学校の授業だけではなく、「人間関係」「計画の練り方」「集団行動のルール」なども勉強になると考えています。もっと掘り下げれば、色々な勉強ができる学校ですが、数学や国語などの勉強をするだけなら、自宅でもできると

言えます。

人によっては人間関係に問題があり、クラスメイトからいじめを受けたりするかもしれません。また、人によっては授業についていけないからという理由で、不登校になるケースもあります。

不登校の子供に最適な勉強方法は一人一人違う！子供に最適な勉強方法は、一人一人違います。

昭和世代、平成世代の人間からすれば、「単に甘ったれなだけ」「昔は不登校をしている人はいなかった」と、そのように思うかもしれません。筆者は昭和世代ですが、不登校になる子供の心理を分かってあげることが大切だと考えています。自分の子供が不登校になったとしても、「単に甘ったれなだけ」「昔は不登校をしている人はいなかった」とは言わないでしょう。「学校が辛いなら行かなくて良い」と言ってあげます。

なぜなら、筆者も学校が辛いと感じていたこともあったので、気持ちは十分にわかるからです。子供の勉強方法というのは、一人一人違います。ロボットじゃないんですから、それは当然でしょう。子供によっては自宅のほうが安心して勉強ができるかもしれませんし、将来大物になる可能性もあるのです。それは、親御さんの対応次第でしょう。

まとめ

不登校の子供に最適な勉強方法は、自宅で出来る学習です。本記事では自宅で出来る勉強方法を、まとめてみました。子供によっては勉強方法が異なりますし、最適な方法というものがあります。学校に絶対行かなくてはいけないわけではなく、子供に適した学習方法を取り組ませたほうが良いでしょう。不登校になった子供の対処法については、以下のページでも解説しているので読んでみてくださいね。

学校は何のためにあるのかを具体的に解説！学校は別に行かなくても良い！登校したくない人が読むページ

誰もが一度は「学校は何のためにあるのか」と、疑問に感じることはあるのではないのでしょうか。筆者も学生のころは「学校は、何のためにあり何のために行くのか？」と、疑問に感じていました。ただ、この「どうして？」と思わず、ただ学校に行っているだけの場合は、思考停止しているか自分の考えが無い子供だと言えるかもしれません。

学校というのは数学や国語など、勉強をするだけの場所ではありません。

本記事では、学校は何のために行くのか、何を学ぶことができるのかなどをお伝えしていきます。

あなたは学校は何のために行くのか説明できますか？

人とのかわり方を覚えるため基本的な知識や教養を学ぶため決められたルールを守れる人間になるため学校は別に行かなくて良い！その理由とは？

まとめあなたは学校は何のために行くのか説明できますか？あなたは、子供から「何のため
に学校に行くのか」と質問されたら、説明ができるでしょうか？「将来のため」「良い大学
に行き、良い会社に就職するため」「社会に通じる人間になるため」以上のような回答は、
どれも思考停止していて具体的な回答にはなっていません。なので、学校は何のためにある
のか疑問に感じている子供を、納得させることはできないでしょう。

もし、子供に「学校は何のために行くのか？」と聞かれたら、逆切れをしないで以下のこと
を参考にして、回答をするようにしてみてください。

人とのかかわり方を覚えるため学校は多くの同年代や学年の違う子供たちと、触れ合う機
会がたくさんあります。学校側もイベントの一つとして、学年違いの子供同士の触れ合いを
行っているところもあります。

筆者も、小学1年生のころに6年生くらいの人と、何らかのイベントをした記憶があるの
です。遠い記憶なので、あまり覚えておりません（苦笑）つまり、人との関わり方を、覚え
るために場所でもあるのです。たとえば、文化祭や体育祭など学校にはイベントがありますが、
クラスメイトが一丸となって1つのことを行うという、人と協力をするということも
学べる場所でもあります。

じゃあ、どうして人と協力をするを学ぶ必要があるのかですが、社会に出て会社に就職
をすると何らかの形で、人と協力をしあって作業をすることが多いです。

人と、どういう風に接して協力をしていく必要があるのかというのを、自分なりに考えて行
動すべきことも、学校で学べるのではないのでしょうか。基本的な知識や教養を学ぶため学校
は多くに人が想像する通り、学問を学ぶ場所でもあります。基本的な知識や教養を学ぶため
に、学校は存在しているのです。確かに、理科や歴史などは、一般的な生活の中では役に立
たないことが多いです。

理科や化学などの本質というのは、自然界に存在している「モノ」「事象」などから観察や
実験を通じ、分析をして関連性や規則性を見つけていきます。とくに、理科や化学などの実
験は、「こうすると危ない」ということを学んだり、「〇〇をすると××になる」という発見
を楽しむ時間だと、筆者は思うのです。

火が燃える原理や、その危険性を知らないで「〇〇は危険」とはならないかもしれません。
理科や化学の授業というのは、その危険性を知るための時間だと言えますね。学校で学ぶ他
の科目についても、無駄なものは一切ありません。決められたルールを守れる人間になるた
め学校の校則には、おかしいルールというものがあります(笑)筆者は校則というものに興味
がなかったので、学生のころは気にもしていませんでした。

しかし、こうした校則も意味があって、ルール化されているのです。決められたルールを守
れない人間にならないために、ルールというものを作り子供のころから、ルールを守るとい
うことを学校で教えられます。

確かに「学校の校則はおかしい、だから自由でええやん」という人もいますが、考え方がお
かしいです。世の中にルールというものが無ければ、世の中は無法地帯になります。

一般的にコンビニで商品を手に入れるには、お金を支払う必要があります。しかし、こうしたルールを守れない人が多くなると、商品もお金を払わないで帰ろうとしたり、信号無視をする車も今よりもメチャクチャ多くなり危険な世の中になるでしょう。

そうならないためにも、学校には校則という形で、ルールというものを設けているのです。学校は別に行かなくて良い！その理由とは？「学校は無理に行かなくて良い」と言っている、某ユーチューバーがいますが、筆者も同じ考え方です。

しかし、学校に無理に行かなくて良いというのには、以下のような条件があります。・いじめを受けている・仲間外れ、無視されている・クラスで孤立している・担任の先生からセクハラを受けている以上のようなケースは、自分が頑張ればなんとかなる問題ではありません。さらに、「学校に行かないは甘え」というのは、以上のような条件の場合は「お前、自殺しろ」と言っているようなものなのです。

とくに「いじめ」を受けている場合は、「我慢して学校に行け」という言葉は大変危険な言葉です。一方的に、わけわからず、いじめられている場合は周囲の大人が、寄り添って対応しないといけません。筆者も、学生のころは「いじめ」を受けていましたが、先生も親も誰も助けてはくれなかったのです。「学校に行きたくない」と言っても、「学校は行くべきところ」「学校に行かないのは自分に甘えているだけ」と、そのように言われました。筆者が「いじめ」を受けていた当時は、まだ「いじめられているほうが悪い」というのが一般的で、誰も対応をしてくれないことが多かったのです。

とくに、先生からセクハラを受けたりパワハラを受けていた場合は、親に言いにくいかもしれません。子供がいきなり「学校に行きたくない」と言い出したら、理由は自分から言うまで、放っておくほうが良いでしょうね。まとめ学校が何のためにあるのかと言えば、勉学に励むためだけではありません。人と接する方法を学んだり、精神的に成長をするために学校は存在しています。確かに、自分でお金を稼ぐ力を持っている場合は、学校はあまり意味がない施設かもしれません。

しかし、多くの人に対して無駄な施設ではなく、無くてはならない場合もあります。基本的なルールや教養を身につけるために、学校は実在しているということになります。

著者：つかさ

日頃考えていることをつらつら書いています。少しでも共感してくれる人や日々のお役に立てばうれしいです(^▽^)/